

学長候補者に岩崎教授

意向調査で895票得る

法人化後の初代学長に

国立大学法人化後の学長となる学長候補者が、10月27日開かれた学長候補者選考会議(議長「小池唯夫毎日新聞社相談役」で岩崎洋一前副学長(物理系教授)に決まった。「学内の一致団結」を訴えた岩崎教授が、唯一の被推薦者になった。過去9回の学長選挙で被推薦者が1人だったことはなく、投票率は67・6%で過去最低。新学長は、法人化する来年4月1日、文部科学大臣に任命される。任期は2007年3月までの3年間。

選考会議は東京キャンパスで、27日午後2時から5時、委員20人が出席し(欠席3人)、分間行われた。会議には、一人、全会一致で岩崎教授に決定した。選考会議が公

記者会見

記者会見での質疑応答は次の通り。
意向調査で集まった895票の重みと責任の重大さを痛感した。

「COE二ヶタ目指したい」



選考会議終了後、記者会見で握手する北原保雄学長と岩崎洋一教授(10月27日午後5時、本部棟8階ゲストルームで)

副学長時代に学長職を非常に光栄で、ありがた意識したことはあったが、当時は考えていなかった。今年の春ごろから、筑波大をよくするために立場を決定することはできた。法人化後は、経営手腕も問われることになる。億単位の研究プロジェクトで、それぞれ違う目的を持つ企業や他分野の研究者と共同して成功に導いたという経験を持っている。その時、経営とはこういうことだと学んだ。

21世紀COEの4件採択という結果については、今年分のヒアリング審査に進んだ4件のうち、少なくとも3件は採択されても

いいと思ってもらえると思う。好きな言葉は単純明快だが、「生きる」。この言葉に全てを込めている。自分は今全てに対して正面から揺るぎなく取り組み、物事が困難に見えるときに、それがチャンスだと思えて力を発揮しようとする人間だと思

北原保雄学長の話 1年半前に再選された当時から、次期学長にふさわしいと考え、本人にも伝えてきた。岩崎教授は、私が考えてきた筑波大の発展を、引き続きいってほしいと思う。

岩崎教授は、私が考えてきた筑波大の発展を、引き続きいってほしいと思う。

岩崎教授は、私が考えてきた筑波大の発展を、引き続きいってほしいと思う。

岩崎教授は、私が考えてきた筑波大の発展を、引き続きいってほしいと思う。



第233号
編集責任 筑波大学新聞
編集委員会 委員長 嶺 隆
T E L : 029(853)2040・2041
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
月刊
発行所 筑波大学
茨城県つくば市天王台1-1-1

紙面から
砂読み 筑波スタンダード
三特集 芸術家のたまごたち
世界遺産シンポジウム開催
柔道 大学男子団体の頂点に
ズーム 体芸食堂改善
アツム 福祉に社会ボランティア賞
11 10 9 8 4 2
特集 6,7
新聞読者アンケート
定期購読者は4割
筑波大学開学30周年
(創基131年)

調査の結果によれば、国立大学法人化後の学長と過半数の895票を得た。投票総数は1028票。投票率は67・6%だった。棄権者は492人で、白票は無効投票数とともに29票だった。

選考会議の決定を受け、岩崎教授は本部棟8階記者会見し、「大学院重視の研究型総合大学を目指す」として、意向調査と、それを良かつた。作戦を練り直して、倍増。できれば2けたまで増やしたい。科学技術だけでなく、例えば、来年度新設される世界遺産専攻など文化的な分野でも貢献していくつもりだ。

今回の選考方法は、法人化に伴う暫定的なものだが、意向調査と、それを良かつた。作戦を練り直して、倍増。できれば2けたまで増やしたい。科学技術だけでなく、例えば、来年度新設される世界遺産専攻など文化的な分野でも貢献していくつもりだ。

今回の選考方法は、法人化に伴う暫定的なものだが、意向調査と、それを良かつた。作戦を練り直して、倍増。できれば2けたまで増やしたい。科学技術だけでなく、例えば、来年度新設される世界遺産専攻など文化的な分野でも貢献していくつもりだ。

今回の選考方法は、法人化に伴う暫定的なものだが、意向調査と、それを良かつた。作戦を練り直して、倍増。できれば2けたまで増やしたい。科学技術だけでなく、例えば、来年度新設される世界遺産専攻など文化的な分野でも貢献していくつもりだ。

今回の選考方法は、法人化に伴う暫定的なものだが、意向調査と、それを良かつた。作戦を練り直して、倍増。できれば2けたまで増やしたい。科学技術だけでなく、例えば、来年度新設される世界遺産専攻など文化的な分野でも貢献していくつもりだ。

岩崎教授は、私が考えてきた筑波大の発展を、引き続きいってほしいと思う。

岩崎教授は、私が考えてきた筑波大の発展を、引き続きいってほしいと思う。

岩崎教授は、私が考えてきた筑波大の発展を、引き続きいってほしいと思う。

岩崎教授は、私が考えてきた筑波大の発展を、引き続きいってほしいと思う。

岩崎教授は、私が考えてきた筑波大の発展を、引き続きいってほしいと思う。

岩崎教授は、私が考えてきた筑波大の発展を、引き続きいってほしいと思う。

本紙・新聞読者調査

3割が「読まない」

筑波大生の新聞読者調査は、1979年に実施された第1回学生生活実態調査以来となる。(6・7面に特集、10面に設問と集計結果)
79年の実態調査によると、何らかの形で新聞を読んでいると答えた学生は39・7%だった。新聞の

筑波 中国春秋戦国時代の思想家「墨家」は、当時の思想界で、儒家に次ぐ勢力を誇った。だが秦代に断絶し、以後清代に再発見されるまで忘れられていた。墨家は、全ての人々に對する愛を基盤とし、戦争の否定、非攻を説く。だが、侵略の危機に陥った小国があると、自ら出向き、力の限り守った。命がけで守るとい意味の「墨守」という語は、この姿勢を源とする。再発見後、墨家の博愛思想と弱者を守り抜く姿勢は、列強の進出に苦しむ清の民衆の希望となる。そして失われた誇りを取り戻すきっかけとなった。墨家のような先哲の知識は、後の時代の科学と人々を支える基礎となる。そういった古代の知識を守っていくことは、大学の重要な役割である。本学芸術研究科にアジア初の世界遺産専攻が開設される。遺跡は文明の遺産である。それ自体が守るべき古代の優れた知識である。しかし、これまで人類は、遺跡をめぐって数々の悲劇を繰り返してきた。パルミヤンの石仏破壊や、バグダッドでの博物館収蔵品略奪などは記憶に新しい。世界遺産専攻は、遺跡を「墨守」できるか。遺跡を守るには現地の人々の教育や、宗教紛争など対立の除去が必要になる。解決すべき課題は大い。だが、積み重ねた努力はいつか実を結ぶだろう。本学の踏み出した新たな道が、希望へと続くことを祈りたい。

教員評価 「一元的な数値化避けたい」

岩崎教授インタビュー

「895票に責任を痛感」

授業評価 フォローを重視

国立大学法人化に向けて、組織や運営の見直し作業が進むなか、法人化後初の学長が岩崎洋一前副学長(物理学系教授)に決定した。教育・研究・経営面で課題が山積する(本紙・山口圭一「社会学類」)

今回の学長選挙には、岩崎教授が一人しか推薦がありませんでした。法人化を目前に、選挙でエネルギーを使うより学内で統一候補を立てようという機運が高まったのではないかと推察する。

公示後、8回のミニ集会を開いた。平均30、50人の教員が参加し、意見交換ができた。過去の学長選挙にはなかったものだ。

結果、意向調査で895票を獲得しましたが、5票を獲得しただけで、有り難いと思うことも多い。



岩崎教授の研究室で

まず、利潤の追求が大学の目的ではないことを確認しておきたい。効率性を求める社会からの厳しい要求と大学の自主・自律性とのバランスが大切だ。

しかし、教育・研究の質を向上させるために、執行部で目標を立て、予算や人材を適切に配分してゆく。教育・研究は費用がかかる。日本は欧米に比べ、GDP(国内総生産)に占める研究費の割合が低い。必要な経費はきちんと要求する。経費を削減するだけの後ろ向きな立場を取ってはいけない。

また、財務諸表を作成し、大学の財務を明確にした。外部資金の導入も積極的に進める。構成員の意識改革も必要だ。産業を活性化するため、大学が社会貢献することを求められており、知的財産の特許化も推

進する。

予算配分に不可欠な、教員・組織の評価が大きな問題になる。

まず、論文リストや外部資金の獲得など基礎データを可視化する必要がある。次に、各組織には尺度となる「はかり」を作ってもらい、できれば1年以内で学内に公表する。「はかり」は世界に通じるものでなければならぬ。将来的には学外にも公表したい。

また、評価は多面的であるべきで、一元的な数値化は避けるべきだ。

所信表明書にある「研究プロジェクト企画室」とはどういうものか。

21世紀COEなど外部の公募プロジェクトを充実し、採択率を目指す。各研究分野から若手研究者を計50人募集し、非常勤で室員に任せてもらう。ポトム・アップ型でアイデアを提案し

てもらうつもりだ。「組織の長」で構成せず、実質的に働いてもらうという趣旨だ。

大学院重視の中で、学群教育が取り残されないか心配する学生もいます。

大学院重視は、国立大として必要だが、学群教育ももちろん重要だ。

学生の声を聞き、系統的なカリキュラムを組む。今年、学生による全学的な授業評価が行われたが、この点にもしっかり向きたい。

いわゆる「ナンバー学群」は、現状のままでは問題があると考えている。受験生にもわかりにくい。

同研究のコーディネートのほか技術指導・コンサルティングなどを受けることができる。会員には、専用のホームページを通じて情報提供を行う。

本学は、産学連携活動に力を入れており、企業などを対象とした研究会やセミナーなどを開催してきた。また、今年9月には産学連携組織を一本化するため、財務本部を廃止して、高木副学長は、年間費も5万円という低価格に設定した。多くの企業に会員になってもらい、気軽に本学を訪れてもらえるようにしたい」と語っている。

内には集計結果の一部を載せた「速報版」も公表される予定だ。

教育計画室長の清水一彦教授(教育学系)によると、集計にさいして「回答者の少ない科目の結果を出すか」などが検討されている。集計結果は学群長に報告し、どう利用するかは、それぞれの学群に任せ、速報版には回収率や質問項目ごとの回答分布が掲載される。科目ごとの集計結果は公表されない。

全学学群・専門学群代表者会議(全代会)は、10月23日から授業評価に関するアンケート用紙の配布を始めた。現在回収、集計作業を進めている。

に、責任を痛感している。学内の信任を得ることができたと考えている。

所信表明で、運営の効率化と経営システムとの確立を訴えているが、具体的に、

外部資金の導入も積極的に進める。構成員の意識改革も必要だ。産業を活性化するため、大学が社会貢献することを求められており、知的財産の特許化も推

進する。

予算配分に不可欠な、教員・組織の評価が大きな問題になる。

まず、論文リストや外部資金の獲得など基礎データを可視化する必要がある。次に、各組織には尺度となる「はかり」を作ってもらい、できれば1年以内で学内に公表する。「はかり」は世界に通じるものでなければならぬ。将来的には学外にも公表したい。

また、評価は多面的であるべきで、一元的な数値化は避けるべきだ。

所信表明書にある「研究プロジェクト企画室」とはどういうものか。

21世紀COEなど外部の公募プロジェクトを充実し、採択率を目指す。各研究分野から若手研究者を計50人募集し、非常勤で室員に任せてもらう。ポトム・アップ型でアイデアを提案し

てもらうつもりだ。「組織の長」で構成せず、実質的に働いてもらうという趣旨だ。

大学院重視の中で、学群教育が取り残されないか心配する学生もいます。

大学院重視は、国立大として必要だが、学群教育ももちろん重要だ。

学生の声を聞き、系統的なカリキュラムを組む。今年、学生による全学的な授業評価が行われたが、この点にもしっかり向きたい。

いわゆる「ナンバー学群」は、現状のままでは問題があると考えている。受験生にもわかりにくい。

同研究のコーディネートのほか技術指導・コンサルティングなどを受けることができる。会員には、専用のホームページを通じて情報提供を行う。

本学は、産学連携活動に力を入れており、企業などを対象とした研究会やセミナーなどを開催してきた。また、今年9月には産学連携組織を一本化するため、財務本部を廃止して、高木副学長は、年間費も5万円という低価格に設定した。多くの企業に会員になってもらい、気軽に本学を訪れてもらえるようにしたい」と語っている。

内には集計結果の一部を載せた「速報版」も公表される予定だ。

教育計画室長の清水一彦教授(教育学系)によると、集計にさいして「回答者の少ない科目の結果を出すか」などが検討されている。集計結果は学群長に報告し、どう利用するかは、それぞれの学群に任せ、速報版には回収率や質問項目ごとの回答分布が掲載される。科目ごとの集計結果は公表されない。

全学学群・専門学群代表者会議(全代会)は、10月23日から授業評価に関するアンケート用紙の配布を始めた。現在回収、集計作業を進めている。

秒読み 国立大学法人化

10月16日の定例記者会見で、菊池副学長(教育担当)が記者の質問責めにあった。質問は、この日公表された「中期目標・中期計画」冒頭の「筑波スタンダード」に集中した。

「広い視野、豊かな人間性及び確かな学力の到達レベルを『筑波スタンダード』として設定する」

この一文について「成績評価とは別か」「数値目標は入るか」「評価

卒業生の「品質保証」に戸惑い

がどこにあるのかを改めて実感したという。

中期目標・計画は、法人化後6年間の教育・研究・運営の指針だ。いかなる大学を目指すのか、社会への決意表明でもある。達成度は運営費交付

にしたものだ」と説明する。いわば卒業生の「品質保証」といえる。

発案者が誰なのかは「分からない」。独自性を盛り込みたい、という議論の中から出てきた」と鈴木室長は話す。

「生物学の研究者・教育者育成」を目指す生物学類は、数値目標に積極的に踏み込んだ。TOEIC・TOEFLの点数70パーセント以上を目指す英語教育、3年時履修の「生物学演習」は英語

「社会学に認められる必要がある」という。工学システム学類などと協力し、日本技術者教育認定機構(JABIE)の認定を得られるようなカリキュラムを作成する。

「筑波スタンダードと

金の算定につながる。

学群教育の目標として掲げた「筑波スタンダード」を鈴木久敏企画調査室長(社会学系教授)は「筑波大はどのような教育をするか。卒業生の能力の最低基準を設定し、受験生や企業が筑波大生イメージを持てるようにする」と話している。

会見の2日前に菊池副学長から要請を受け、学群・学類は「スタンダード」の具体化に着手した。

10月17日の教育審議会で、11月17日の教育審議会で提出する。雲をつかむようなテーマを短時間でまとめる。頭の痛い作業が続いた。

論文を10本以上読む。2万字以上のレポートを書く。などを最低限必要な能力としている。

「工学士育成」を掲げる工学基礎学類の戸嶋信幸教授(物質工学系教授)は「筑波大は、工学士として通用するスタンダードでは意味がない。(工学士として)

以上、全学共通の評価項目が必要」と、生物資源学類長の富田文一郎教授(農林工学系)は全学群を対象の評価表を作った。成績、取得単位、サークル活動など統一の20項目。「評価方法を学群に委ねれば、個性を潰すことにはならない」と念を押す。

一方、文系の学類にはなじまないのでは」と辻中豊社会学類長(社会学系教授)は首を傾げる。「社会学の分野にスタンダードなんてあるのかな」と懐疑的だ。

「期待されているような具体的な目標は立てられない」ともいう。

比較文化学類長の川那部保明教授(現代語・現憲「社会学類」)

代文化学系教授)も「安易に数値化したら、教育は硬直化してしまう」と危惧する。

教育計画室長の清水一彦教授(教育学系)は「米国には、約5年に一度教育内容を審査するアカラリテーションという制度がある。日本は、そういう教育の質を保証するシステムを作って来なかった。スタンダード設定で、事後チェックが明確になる」とみている。

菊池副学長は「バラバラな意見が出るのは仕方ない」と話す。法人化まであと5カ月。総合大学にふさわしいスタンダードは、果たして出来るのか。(本紙・時田備憲「社会学類」)

産学連携会(TOMO) 来年1月設置へ 会員に優先情報

会員となった民間企業などへ優先的に研究成果・情報を提供する「筑波産学連携会(TOMO)」が、来年1月をめどに設置されることになった。

10月15日には、高木英明副学長(研究担当)を室長とする同会設立準備室が設置された。

同会は、法人化後、研究成果の社会還元が求められている実情を踏まえ、企業

との連携をより強固にするため設立される。以前から、企業の間で、大学の情報を広く提供して欲しいという声は強かった。

会長には、本学の前身校東京文理科大学のOBで、三菱マテリアル株式会社取締役相談役の秋元勇巳氏が、理事には、茨城県内の有力企業の代表らが就任する予定。

会費は、企業が5万円、個人は1万円、1千社を目標に会員を募る。企業のニーズに基づき受託研究、共

携していきたい」と抱負を語った。

来賓挨拶で、白川名誉教授は「センターの設立には直接関係していないが、物質科学分野の総合的な研究に貢献してほしい」と期待を語った。来賓として、白川名誉教授とノーベル賞受賞者4人が集う「学際物質科学研究センター」の開所式が10日、大学会館講堂でおこなわれ、250人の教員・学生が参加した。

同センターは、白川英樹(物質工学系教授)が名誉教授の功績を記念して設置されたもので、白川セ

同研究のコーディネートのほか技術指導・コンサルティングなどを受けることができる。会員には、専用のホームページを通じて情報提供を行う。

本学は、産学連携活動に力を入れており、企業などを対象とした研究会やセミナーなどを開催してきた。また、今年9月には産学連携組織を一本化するため、財務本部を廃止して、高木副学長は、年間費も5万円という低価格に設定した。多くの企業に会員になってもらい、気軽に本学を訪れてもらえるようにしたい」と語っている。

「白川センター」開所式 ノーベル賞 4人が集う

ノーベル賞受賞者4人が集う「学際物質科学研究センター」の開所式が10日、大学会館講堂でおこなわれ、250人の教員・学生が参加した。

同センターは、白川英樹(物質工学系教授)が名誉教授の功績を記念して設置されたもので、白川セ

北原保雄学長の挨拶に続き、赤木和夫同センター長(物質工学系教授)が「個々の専門研究をしながら、絶えず異なる分野と連携も出席した。

記念講演として、本学前学長の江崎玲於奈釜浦工業大学長が「限界への挑戦」と題して講演を行った。

11日には同センターの開所記念講演会が行われ、290人が参加した。

授は98年2月ごろから翌年6月ごろまで、製薬会社から本学に納入された覚せい剤の塩酸メタンフェタミン(商品名「ロポン」)計0.105グラムを、覚せい剤取締法が定める「覚せい剤研究者」の資格がない基礎医学系の元教授に数回譲渡した疑い。「違反の認識はなかった」と話しているという。

譲り受けた元教授は、研究用にラットやマウスに注射したという。



写真左から、白川本学名誉教授、ヒーガー教授、マクティアミド教授、江崎本学前学長(大学会館講堂で)

授は98年2月ごろから翌年6月ごろまで、製薬会社から本学に納入された覚せい剤の塩酸メタンフェタミン(商品名「ロポン」)計0.105グラムを、覚せい剤取締法が定める「覚せい剤研究者」の資格がない基礎医学系の元教授に数回譲渡した疑い。「違反の認識はなかった」と話しているという。

譲り受けた元教授は、研究用にラットやマウスに注射したという。

授は98年2月ごろから翌年6月ごろまで、製薬会社から本学に納入された覚せい剤の塩酸メタンフェタミン(商品名「ロポン」)計0.105グラムを、覚せい剤取締法が定める「覚せい剤研究者」の資格がない基礎医学系の元教授に数回譲渡した疑い。「違反の認識はなかった」と話しているという。

譲り受けた元教授は、研究用にラットやマウスに注射したという。

筑波スタンダード

「幅広い視野、豊かな人間性及び確かな学力の到達レベルを『筑波スタンダード』として設定する」

この一文について「成績評価とは別か」「数値目標は入るか」「評価

がどこにあるのかを改めて実感したという。

中期目標・計画は、法人化後6年間の教育・研究・運営の指針だ。いかなる大学を目指すのか、社会への決意表明でもある。達成度は運営費交付

にしたものだ」と説明する。いわば卒業生の「品質保証」といえる。

発案者が誰なのかは「分からない」。独自性を盛り込みたい、という議論の中から出てきた」と鈴木室長は話す。

「生物学の研究者・教育者育成」を目指す生物学類は、数値目標に積極的に踏み込んだ。TOEIC・TOEFLの点数70パーセント以上を目指す英語教育、3年時履修の「生物学演習」は英語

「社会学に認められる必要がある」という。工学システム学類などと協力し、日本技術者教育認定機構(JABIE)の認定を得られるようなカリキュラムを作成する。

「筑波スタンダードと

以上、全学共通の評価項目が必要」と、生物資源学類長の富田文一郎教授(農林工学系)は全学群を対象の評価表を作った。成績、取得単位、サークル活動など統一の20項目。「評価方法を学群に委ねれば、個性を潰すことにはならない」と念を押す。

一方、文系の学類にはなじまないのでは」と辻中豊社会学類長(社会学系教授)は首を傾げる。「社会学の分野にスタンダードなんてあるのかな」と懐疑的だ。

「期待されているような具体的な目標は立てられない」ともいう。

比較文化学類長の川那部保明教授(現代語・現憲「社会学類」)

代文化学系教授)も「安易に数値化したら、教育は硬直化してしまう」と危惧する。

教育計画室長の清水一彦教授(教育学系)は「米国には、約5年に一度教育内容を審査するアカラリテーションという制度がある。日本は、そういう教育の質を保証するシステムを作って来なかった。スタンダード設定で、事後チェックが明確になる」とみている。

菊池副学長は「バラバラな意見が出るのは仕方ない」と話す。法人化まであと5カ月。総合大学にふさわしいスタンダードは、果たして出来るのか。(本紙・時田備憲「社会学類」)

稲葉 剛さん(デザイン)

カードゲームの定番「花とどう調和させるか」に苦札をイメージした。3枚の作品全てに「ペンギン」をうまくマッチさせている。視覚伝達デザインコース 稲葉剛さん(芸術3年)の作品「花札ペンギン」。雙峰祭に出品した。

「どんなポーズでもさまになる。結構、おかしな動物」と表現するペンギンは、稲葉さんのお気に入り。「きのこ」や「サボテン」など14種類の画像と組み合わせ、斬新な花札を完成させた。「和」の雰囲気は色の配置で表現した。制作期間は1週間、画像をスクリーンで取り込み、画像編集ソフトを用いて完成させた。



お気に入りのペンギンを使用した作品と並ぶ

花札にペンギンを

現在、広告代理店を目指して就活中だ。

「見知らずの人から、ほくの作ったCMをおもしろい」といわれるのが夢だ。

材に選んだのは昔からデザインがかわらない完成度の高い図柄だったから。「誰も知っていない作品で、アート感が集まって作品や音楽、コラムなどを紹介する」

「cinna a」のメンバーである稲葉さんはホームページ(http://www.wcinna.net)で「花札ペンギン」を展示している。

石川 絢子さん(総合造形)

池の上に直径80センチほどの小山が浮かんでいる。よく見ると、それはすべて5円玉で出来ていた。池があれば、どこにでも小銭を投げ入れてしまう日本人、



6千個の5円玉を使用した作品「小銭のある風景」

5円玉が表す宗教観

「展示中、面白かったのは、池の中に本物の5円玉を投げつけた人がいたこと。石川さんのいう日本人が、狙った通りの行動を起こしてくれたのだ。」



制作者の石川さん

「抱いた。」「作品に感動や美しさを求めようとは思わない。ただ、見た人が驚いたり関心をもってくれたりすればいい。わざとらしいほどに積み上げた5円玉は、見る人にインパクトを与える。極端な表現だが、作者の意図は見事に作品に反映されている。」

「展示中、面白かったのは、池の中に本物の5円玉を投げつけた人がいたこと。石川さんのいう日本人が、狙った通りの行動を起こしてくれたのだ。」

芸術家のたまごたち

江口 拓人さん(総合造形)

今月末、大学構内のペデストリアン沿いに突如モアイの像が出現する。高さ1.8メートル。表面は見えのある緑色。傍らには「ニューヨークと黒板消し。そのこのモアイの表面は黒板になっている。誰でも気軽に落書きができるのだ。」「どうでもいいことを書かれることを期待しています。そういうのを見てみると楽しいじゃないですか」と語る総合造形コースの江口拓人さん(芸術4年)がこの作品「On a Board from Easter」の作者だ。



作品を持ち上げほほえむ江口さん

ペデにモアイ像出現!?

「事件を知った江口さんに好奇心がわき起こった。」「落書きは匿名で一人の作者だ。」「今年1月、日本人旅行者がイースター島のモアイ像に落書きをして逮捕された。文化遺産に落書きをしてはいけないというのは、単純に楽しむことができるのだ。」「どうでもいいことを書かれることを期待しています。そういうのを見てみると楽しいじゃないですか」と語る総合造形コースの江口拓人さん(芸術4年)がこの作品「On a Board from Easter」の作者だ。

賞に輝いた。現在作品は福井県を中心とした5カ所を巡回中。大勢の美術愛好者の目をひきつけるに違いない。

岡田 卓也さん(洋画)

白い下に、ピンク、赤、緑などの色が一見無造作に重なり合う。所々に下地が見えるのは、テープを貼った上から色を塗ってはがす、マスキングという手法を使っているからだ。色の空白が、作品にクリアな印象を与えている。



工業用の水性ペンキで絵を描く

人との対話待つ絵

「描き終えるたびに作品との対話」という意味も込められている。見たこともないような絵を理解しようとする中で、新たな視点や直す。それが作品に心を開いて欲しい。自分との対話だと思ふ。題名「Dialogue」は、非効率的な手段。しかし、効率を求めたら対話は成立しない。「何を描くか」よりも「どう描くか」にこだわるのは、制作過程そのものが岡田さんの伝えるメッセージだからだ。

長沢 薫さん(書)

「納得できるまで何枚でも書く。書に取り組み長沢薫さん(芸術研究科1年)は、1作品を完成させるまでに100枚以上も書く。」「双峰祭に出品した臨書「深養父集」と創作「題山」は、「完成までに200枚も試行錯誤した」と話



雙峰祭に出品した創作「題山水」と並んで

納得するまで筆を走らす

臨書は、歴代書家がいいた手本に、いかに似せて書けたかが評価の基準となる。

「納得できるまで何枚でも書く。書に取り組み長沢薫さん(芸術研究科1年)は、1作品を完成させるまでに100枚以上も書く。」「双峰祭に出品した臨書「深養父集」と創作「題山」は、「完成までに200枚も試行錯誤した」と話

「題山水」は、書家の個性が強い明清時代を基調とした行書草書の作品だ。まで何百枚、何千枚も書いてきた努力の産物だ。」「書を書くのが何より好きだ」と話す長沢さん。好きな筆の動き。納得していく。

総合力の戦い、念願の初優勝

学生団体別日本重量級柔道大会

高松、平岡が大会優秀選手に

記念公園総合体育館で行われた。2回戦から出場した本学は決勝で中央大を破り初優勝した。団体戦での全国制覇は初めて。同大会は7人制で行われ、60キロ級から100キロ級まで7階級から1人ずつ選手が出場する。大学柔道部の総合力を争う大会といえる。本学は昨年3位だったためシード権を得ていた。初



主将・高松が中大の八木に背負い投げて一本勝ち(3日、尼崎市で、読売新聞社提供)

日二回戦の順天堂大戦は51で勝った。だが、この試合で中堅の高橋慶(体育4年)がひじを脱ぎやうし、三回戦から1年生の法兼真(同)に出番が回ってきた。

三回戦の早稲田大戦も51で圧勝。準々決勝は明治大との対戦になった。明大には第2回大会決勝で敗れ、優勝をさらわれている。今回も夏のユニバーシアード大会66キロ級優勝の寺井高志、同90キロ級優勝の泉浩など強豪をそろえており手強い相手だ。

対明大戦、先鋒に初めて平岡拓晃(同1年)が出場した。稽古中に痛めた右ひざの怪我が心配されたが、合わせ技で勝利した。平岡は「ひざの感覚はなかったが、気にせず動けた」と言う。次鋒の篠崎悠(同4年)は中学時代からのライバルを下したものの、ひじを痛めていた中堅の法兼が一歩負けを喫するなど一進一退

が続いた。大将の加藤光将(同2年)が一本勝ちし、3. 本学は内容勝ちで、かろうじて次に駒を進めた。

準決勝で天理大を破り、決勝戦は対中央大戦。先鋒の平岡はすぐさま合わせ技を決め一本、先鋒として試合の流れを引き寄せた。次鋒の篠崎が引き分け、三鋒で高松正裕(同4年)が登場した。圧倒的な試合運びで得意の背負い投げを決めた。中堅の法兼は優勝勝ち、次の三将・竹澤裕(同2年)が勝て初優勝だ。

竹澤は岡田弘隆コーチ(体育科学系講師)に、「決めてこい」と送り込まれた。序盤は足技でプレッシャーをかける。いつ投げ技を出すのか、周りが息をひそめて見守る中、完璧なタイミングの払い腰が決まった。初優勝の瞬間だった。

その後、副将の仲田直樹(同3年)、大将の加藤(同)共に敗れたが、4. 2で男子団体の覇者となった。高松と平岡は大会優秀選手に選ばれた。



顔の金丸雄介(了徳寺学園職員)、高松正裕(体育4年)ら日本代表を生んだ本学柔道部に、世界を目指す新たな猛者が現れた。「目標はオリンピックの金メダル」。そう力強く話す平岡拓晃選手(同1年)だ。

10月4、5日に行われた男子22回全日本学生団体別選手権大会60キロ級に出場し、初戦を除くすべての試合を一本勝ちし優勝した。11月2、3日に行われた第5回全日本学生団体別団体優勝大会でも先鋒として3連勝し、本学初の団体優勝に貢献した。

平岡拓晃選手(体育)



入学した。両先輩の「技のスピードが早い。金丸、高松に並ぶ逸材だ」と絶賛する。身長159センチと、最軽量級の60キロ級のなかでも小柄だ。全日本学生団体別選手権では出場35選手中2番目に小さかった。身長が低く、組み手争いは不利になる。だが「スピードがあれば相手のふところに入れる。身体の大きな相手を投げ飛ばした時は痛快です」と臆することはない。練習で125キロの選手を投げ飛ばしたこともある。スピードを活かした背負い投げは、どんな相手も投げ飛ばす破壊力がある。

世界を狙う小柄な猛者

柔道を始めたのは小学校1年のとき。相手を投げおもしろさのめり

ハンドインカレ二連覇

女子 バレーは男女とも2位

女子ハンドボール部は11月9日、全日本学生選手権で東女体大を29-22で破り、インカレ2連覇、通算7回目の優勝を果たした。



バレー

関東大学秋季リーグが10月19日、全日程を終えた。本学は男女とも8勝2敗で2位だった。

男子 リベロの勝野裕士(体育)

貢献した。初戦から5連勝し好スタートを切ったが、守りの固い東海大に1-3で敗れた。決勝リーグでも最終戦で東海大に敗れ、勝数は並んだもののセット数は及ばなかった。

全日本インカレに向けて中西康巳監督(体育科学系講師)は「セッターとのコンビネーションを強化したい」と話した。



東海大戦でスパイクを決める柴田恭平(10月19日、日本体育館で)

得点王に鈴木

サッカー

第77回関東大学リーグが10月26日に閉幕し、本学蹴球部は2位に終わった。

第11節までの勝ち点は1位の駒沢大が27で、2位の本学は25。第12節の国士館大戦で勝たなければ、自力優勝の可能性が消滅する。

最終節の東京学芸大戦で後半7分、キャプテンの鎌田祥平(体育4年)のコーナークICKを、秋葉陽一(同2年)が頭で合わせて得点した。しかし後半42分に、マークが甘くなったすきをつかれ、失点。引き分けに終わった。

第13節の駒沢大戦は、前半44分にFW鈴木孝明(同4年)の得点で同点に追いついたが、後半、失点を重ね駒沢大の優勢と、本学の2位が確定した。

最終節の東京学芸大戦で後半7分、キャプテンの鎌田祥平(体育4年)のコーナークICKを、秋葉陽一(同2年)が頭で合わせて得点した。しかし後半42分に、マークが甘くなったすきをつかれ、失点。引き分けに終わった。

今リーグで、鈴木孝明が得点王を受賞した。鈴木は「2年生の時から、FWとしてずっと頑張ってきたので、最後の年に取れて嬉しい」と話した。

記録ファイル

- ハンドボール
1 ナーキックを、秋葉陽一(同2年)が頭で合わせて得点した。しかし後半42分に、マークが甘くなったすきをつかれ、失点。引き分けに終わった。
第13節の駒沢大戦は、前半44分にFW鈴木孝明(同4年)の得点で同点に追いついたが、後半、失点を重ね駒沢大の優勢と、本学の2位が確定した。
最終節の東京学芸大戦で後半7分、キャプテンの鎌田祥平(体育4年)のコーナークICKを、秋葉陽一(同2年)が頭で合わせて得点した。しかし後半42分に、マークが甘くなったすきをつかれ、失点。引き分けに終わった。



昼食時の混雑解消を求める声も多かった(体芸食堂2階で)

体芸食堂改善

「緑黄色野菜をもっと多く摂りたい」「アスリートへの配慮が全く欠如している」。体芸食堂に関するアンケートの自由記述の一部だ。

アンケートは、食堂のソフト面での改善を目指す体芸食堂改革推進研究会が利用者の声を反映するため企画。7月末から9月にかけて体育会に所属する学生800人に配布し、585枚回収した。研究会は、体育科学系の教員6人、学生2人で構成されている。アンケートでは、料理の改善を望む声が多かった。改善を望むものを、値段やボリュームなど11項目から3つ選んでもらったところ、メニューの種類・質(391人)と味(266人)が最も多かった。カロリー・栄養の情報提供も116人が選んでおり、栄養に対する関心の高さをうかがわせる。

栄養学 献立に活かして アスリートに配慮を

管理栄養士の資格を持つ麻見直美講師(体育科学系)は、現行のメニューを「肉類が多い。エネルギー量は十分過ぎる。ビタミンやミネラルは摂れず、栄養バランスへの配慮がない」と分析する。「試合前になって、アスリート向けの食事に特化しても、普段の食生活がいまのような状態なら効果は薄い」と手厳しい。

いま、体育会で話題になっているのは、野球部が今年5月から、スポーツ栄養学に基づいた献立に切り替えていることだ。今年平均3キロほど増えた体重が減る新入生の体重が、今年平均3キロほど増えたという。配食業者のメニューは、状況に合わせて変わる。通常は、体を作るタンパク質を中心に、試合前は炭水化物が多くなる。川村監督は、「昨年は故障者が続出して頭が痛かった。今年は、選手が怪我に強くなり、ベストメンバーが揃う」と効果のほどを話す。野球部と同様に水泳部やスケート部でも同社を採用しているという。

学食については現在、午前11時から午後2時までの営業時間を延長するよう望む声が多い。アンケートによると、午前7時半から8時半まで営業すれば、58%の学生が「積極的に利用する」と、時々は「利用する」と答えている。午後5時から10時では、74.5%が同様の回答をしている。「部活の終了時間が遅く夕食に苦労している」といった声も多い。

体芸食堂を運営する吉池サイバスの小島正視常務は、「カロリー表示は、11月中にもブライスカードに併記したい」と話す。だが、メニューの大幅な変更は「昼食時に1日平均430人が訪れる中、現在の施設では難しい」という。朝食時の営業についても「利用者があるかどうか、疑念的だ。平砂宿舎では利用者が減少して、98年に朝の営業を止めた経緯がある」という。

厚生会理事長の富江伸治副学長(学生生活担当)も、「利用者に限られ、経営が苦しいなか努力している」と話す。しかし、嵯峨寿・助教(体育科学系)は、「近隣に総合研究棟も建設中で、体芸食堂に求められているものは大きい」と改善を求める。

研究会では、アンケート結果を踏まえ、11月下旬に開かれる厚生会理事会で改善を要望する。(本紙・山口圭一「社会学類」)

情報処理実習

情報処理実習の時間が嫌いだ。授業が嫌なのではない。実習で使うパソコンが嫌なのだ。初めはグラフを作る授業の時だった。エクセルを開いたとたんエラーが発生。エクセルが1気に20個くらい開き、動かさなくなった。混乱し、TAに助けを求めようとした。が、その日に限ってTAは入院していて不在。結局、先生の話が一端切れたところで現状を訴えると、「これはダメだね。違うのに移って」。翌週からそのパソコンを避けた。2度も目もまたエクセルだった。今度は「開けません」が表示される。「何かいじったの」と先生。「言われた通りにやっただけです。パソコンのせいです」とはとてとも言えず「いいえ」とだけ

初めての選挙

今年20歳になった私にとって、今回の衆院選が初めての選挙体験になる。そこで奮然ながら、私の選挙体験を書くことにする。

投票前1週間は立候補者と、政党の政策分析にあてられるだけあって、各党とも政策を全面に出している。膨大な量の政策を全て比較していくのは難しい。外交・防衛、経済、行政改革の3点に絞ってチェックすることにしました。

どうも耳障りのいいことしか言っていない気がする。これでは違いがよくわからぬ。仕方ないので、投票前日はインターネット上の政党と候補者のウェブページに集まる投稿のうち、批判だけを抽出して読む。こうすると政策の穴がよく見えてくる。結局、今の日本に必要なのは新しい力だ

「パソコンのせい」とは言えない



「パソコンのせい」とは言えない。しばらくすると、先生が心配顔で「できた？」と画面をのぞき込んできた。何回も迷惑かけすみません。心の中で平謝りを繰り返した。(ウィルス?)

就活支援

ジュエルのOB・OG・内定者訪問に参加しませんか? キャリア応援団ジュエルでは、就活生にOB・OG・内定者の紹介、および訪問のアドバイスを行っています。OB・OG・内定者訪問会12月2日(火)午後5時、第7回説明会12月12日(金)午後5時、第三学群学生控室でラスト2回なのでこの機会を逃さずに来て下さい。説明会の後、訪問を行った人たちが記事を書いて、その場に同席できなかつ

学内のあらゆる話題を紹介し、あなたの周りの面白ネタを本紙へ送ってください(連絡先は5面)

選挙トト

11月9日、3年ぶりの衆議院総選挙が行われたが、ここ天王台でも、熱い戦いが繰り広げられた。10人の記者らがマニフが絡り広げられた。行われたが、ここ天王台でも、熱い戦いが繰り広げられた。行われたが、ここ天王台でも、熱い戦いが繰り広げられた。

軽く興奮、遠足気分

自身も卒業した地元小学校の体育館。投票用紙を受け取る。前日に決めたとおり、その2分で投票は完了。終わってみると意外に簡単だった。私の票がどこまで日本のためになるか解らない。しかし、小さな一歩がいつか実を結ぶはず。そんなことを考えながら家路についてくる。結局、今の日本に必要なのは新しい力だ

社学生圧勝、面目保つ

開票の始まる午後8時、各社一斉に出口調査の結果を発表した。視聴率を水増しした某局の結果には、一同言葉も無くした。民主党は、200議席以上獲得するという。議席まで、水増しではという声も聞かれた。未明。全ての議席が決まった。天候が響いたのか、投票率は前回選挙の62.5%を

筑波大生の新聞読読状況に関するアンケート 全数表

<p>有効回答数は891人</p> <p>標本集団の構成は以下の通り(小数点第2位以下四捨五入)</p> <p>文系/416人(人文、社会、比較文化、日本語・日本文化、人間、国際総合、図書館情報) [46.7%]</p> <p>理系/390人(自然、生物、生物資源、社会工学、情報、工学システム、工学基礎、医学、看護・医療科学、医専) [43.8%]</p> <p>芸術系/82人(芸術・体育) [9.2%]</p> <p>その他/1人(大学院) [0.1%] 無回答/2人 [0.2%]</p> <p>男 52.1% 女 47.8% 無回答 0.1%</p> <p>1年生 264人 2年生 302人 3年生 196人 4年生 67人 5年生 3人 6年生 3人 その他 2人 無回答 54人</p> <p>一人で暮らしている 88.6% 家族と同居している 8.0% その他 3.5%</p> <p>設問と回答の単純集計は以下の通り。</p> <p>Q1.あなたはどのような新聞の読み方をしていますか(3つまで)</p> <p>1.自宅で定期購読をしている 39.7% 2.附属図書館で読んでいる 25.7% 3.コンビニや自販機などで購入して読んでいる 2.9% 4.インターネット上で読んでいる 22.6% 5.その他 3.3% 6.読んでいない 26.9%</p> <p>6.読んでいないに該当した人はQ6まで非該当</p> <p>Q2.あなたが好んで読んでいる新聞を次の中からお選び下さい(複数回答)</p> <p>1.朝日新聞 48.4% 2.毎日新聞 10.4% 3.読売新聞 19.9% 4.日本経済新聞 9.1% 5.産経新聞 4.0% 6.東京新聞 1.0% 7.茨城新聞 1.5% 8.常陽新聞 0.8% 9.スポーツニッポン 3.6% 10.日刊スポーツ 4.3% 11.スポーツ報知 1.0% 12.中日スポーツ 0.9% 13.デイリースポーツ 1.2% 14.その他 4.7%</p>	<p>Q3.あなたは何のために新聞を読んでいますか(複数回答)</p> <p>1.社会の動きを知るため 57.4% 2.就職活動のため 7.0% 3.娯楽として 26.7% 4.習慣として 22.4% 5.テレビ・ラジオ欄を見るため 32.9% 6.新聞くらい読むべきだと思うから 20.7% 7.暇つぶしとして 14.9% 8.話題作りとして 7.4% 9.その他 4.0%</p> <p>Q4.あなたは1週間のうち、どのくらい新聞を読んでいますか(単回答)</p> <p>1.毎日読んでいる 23.7% 2.5~6日 10.3% 3.3~4日 19.1% 4.1~2日 16.0% 5.ほとんど読まない 3.8% 無回答 0.2%</p> <p>Q5.あなたは新聞を読む時、どのくらいの時間をかけますか(単回答)</p> <p>1.10分未満 15.9% 2.10~20分未満 36.1% 3.20~30分未満 25.7% 4.30~40分未満 13.5% 5.40~50分未満 3.9% 6.50分以上 5.0% 無回答 0.5%</p> <p>Q6.あなたが頻りに読む記事を次の中からお選び下さい(複数回答)</p> <p>1.国内政治 30.8% 2.社会・事件・事故 48.5% 3.国際・外交 26.9% 4.社説・主張・コラム 33.8% 5.経済 13.5% 6.教育 18.5% 7.スポーツ 32.3% 8.年金・介護・社会福祉 8.1% 9.医療・健康 12.5% 10.生活・家庭 15.7% 11.芸能・タレント 13.0% 12.趣味・娯楽 21.3% 13.地元・地域の出来事 17.8% 14.テレビ・ラジオ番組表 42.2%</p> <p>Q7.あなたは1週間のうち、どのくらいテレビを見ますか(単回答)</p>	<p>1.毎日見ている 63.8% 2.5~6日 10.9% 3.3~4日 9.2% 4.1~2日 3.9% 5.ほとんど見ない 12.1% 無回答 2.6%</p> <p>1と2に該当した人のみ平均時間を記述 60分 22.5%/120分 21.9%/180分 8.9% 以下は省略</p> <p>Q8.あなたは1週間のうち、どのくらいラジオを聞いていますか(単回答)</p> <p>1.毎日聞いている 5.6% 2.5~6日 2.4% 3.3~4日 3.0% 4.1~2日 8.6% 5.ほとんど聞かない 80.4% 無回答 0.6%</p> <p>1と2に該当した人のみ平均時間を記述 60分 2.2%/30分 1.2%/120分 0.7% 以下は省略</p> <p>Q9.あなたは1週間のうち、どのくらいインターネットを利用しますか(単回答)</p> <p>1.毎日使う 29.9% 2.5~6日 12.2% 3.3~4日 26.1% 4.1~2日 21.6% 5.ほとんど使わない 10.2% 無回答 0.7%</p> <p>1と2に該当した人のみ平均時間を記述 60分 14.2%/30分 8.5%/120分 6.5% 以下は省略</p> <p>Q10.あなたは筑波大学新聞を読んでいますか(単回答)</p> <p>1.よく読んでいる 10.9% 2.まあまあ読んでいる 21.6% 3.あまり読んでいない 28.0% 4.読まない 39.6% 無回答 0.1%</p> <p>Q11.あなたは筑波大学新聞をどのように読んでいますか</p> <p>1.持ち帰って読む 38.3% 2.その場で読んで元に戻す 21.0% 3.インターネット上で読む 0.3% 無回答 2.2%</p> <p>Q10で4.読まぬに該当した人は非該当</p>
--	--	--

社福に社会ボランティア賞

30年間の活動を評価

ソロプチミストつくばが推薦

社会福祉活動の支援な「局」京都市」が選定する。月10日、幕張メッセ(千葉市)で授賞式が行われた。賞金として20万円が贈られた。

今回の受賞は、社福の30年間にあつた地道なボランティア活動を知られた。ソロプチミストつくばが、財団に推薦し決定した。

社福は本学の開学と同じ72年、10人に満たない1期生によって設立された。現在は会員数2000人を超える大所帯となった。つくば市内や土浦市にある児童養護施設4カ所、知的障害者更生施設2カ所、特別養護老人ホーム1カ所の計7カ所で行っている。会員の学生は、施設ごと7グループに分かれ児童への学習指導や、ダンスなどのレ



施設の利用者にダンスを教える社福のメンバー(つくば市水守の知的障害者更生施設・みもり園で)

クリエーション活動を、週に1回ほど行っている。社会福祉協議会からの要請に応じて、地域行事に参加していることも評価された。

先月まで会長を務めた柴岡友洋さん(国際3年)は、「こんなに大きな賞をいただけて、驚いている。社福の歴史に残るものとなった。今後また活動するだけでなく、常に自分たちの活動を振り返りながら、よりよい活動を展開していきたい」と語る。

賞金の使い道はまだ決まっていないが、社福30年史製作に充てる案があるという。

来月初旬に使用開始

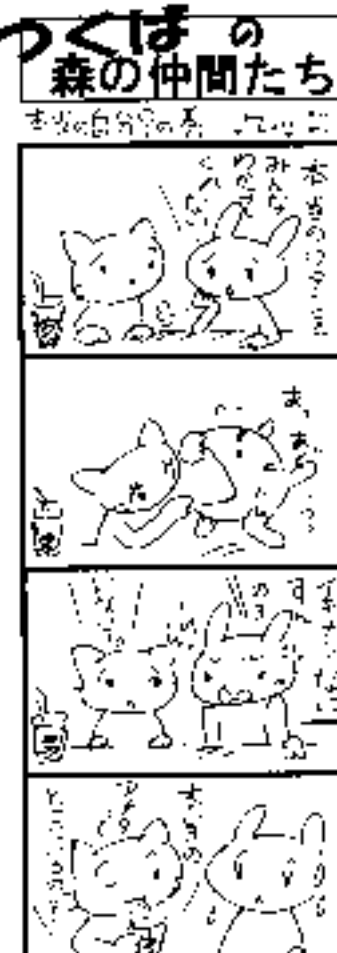
学控 教室 ベージュ一色に改装

キャンパスリニューアルの一環として、人間学類学生控室が11月7日に改装された。学控室が改装されるのは今回が初めて。リニューアルのコンセプトは「温かい居心地のよい空間」。改装後は、壁と床の色をベージュに統一し、木製のテーブルや椅子、ソファなど新たに31個の家具を設置する。学生どうしの話し合いや、読書をする場所として利用する予定だ。また、壁で仕切られた東側の机4脚と椅子24脚を置いて、勉強スペースとして活用する。各部屋には、デスクライトや埋め込み式の蛍光灯など、用途に合わせた3種類の照明を取り付ける。「ノートパソコンを利用したい」という学生の要望に応え、3カ所しかなかった。

放課後学習センター

教員志望者、高崎中で

教員を目指す大学生が小中学生に個別に勉強を教える放課後学習センター(つくば市高崎)を担当指導にあたり、学生6人が同中学校で主要5教科の指導にあたり、学生6人と、少人数制の指導で学習意欲の向上を図るのが目的だ。県内では本学と茨城大学、茨城キリスト教大学が参加している。



この制度は文部科学省が始めた試験的な事業。全国43都道府県、285の小中学校で来年度まで行われる。教員を目指す学生に教育実習以外の現場を提供し、こどもに接する機会を与え、少人数制の指導で学習意欲の向上を図るのが目的だ。県内では本学と茨城大学、茨城キリスト教大学が参加している。

チューターの学生6人は、平日毎日、交代で同中を訪れる。月曜日から金曜日の放課後3時45分から5時15分までチャレンジャーと名付けられた空き教室を使い、補習を行う。受験を控えた3年生を中心に15、16人の生徒が参加している。

現在は授業中にわからなかったところ、テストで間違った問題を中心に中学生の質問に、チューターが答える形の指導方法がとられている。

来月初旬に使用開始

学控 教室 ベージュ一色に改装

キャンパスリニューアルの一環として、人間学類学生控室が11月7日に改装された。学控室が改装されるのは今回が初めて。リニューアルのコンセプトは「温かい居心地のよい空間」。改装後は、壁と床の色をベージュに統一し、木製のテーブルや椅子、ソファなど新たに31個の家具を設置する。学生どうしの話し合いや、読書をする場所として利用する予定だ。また、壁で仕切られた東側の机4脚と椅子24脚を置いて、勉強スペースとして活用する。各部屋には、デスクライトや埋め込み式の蛍光灯など、用途に合わせた3種類の照明を取り付ける。「ノートパソコンを利用したい」という学生の要望に応え、3カ所しかなかった。

た電源を6カ所に増やす工事も行われている。

リニューアルの計画は昨年、人間学類のクラス代表者会議を中心にまとめられた。これまでにワークショップを3回行い、学生の意見を取り入れてきた。

工事は26日までに完了し、12月初旬には使用できるようになる予定だ。

第27回秋季スポーツ・デー

霞ヶ浦でヨット試乗 駅伝 教員チーム8連覇



サッカーには178チームが出場した(ラグビー場で)

第27回秋季スポーツ・デーが10月25、26の両日、陸上競技場を中心に開催された。初めての構外企画として霞ヶ浦ヨットハーバー(土浦市川口)でヨット試乗会、新企画としてカバディが行われるなど、新しい試みもみられた。7種目と

第27回秋季スポーツ・デーが10月25、26の両日、陸上競技場を中心に開催された。初めての構外企画として霞ヶ浦ヨットハーバー(土浦市川口)でヨット試乗会、新企画としてカバディが行われるなど、新しい試みもみられた。7種目と

スポーツフィールドには延べ4290人が参加した。春・秋合わせると延べ参加者1万646人となり、4年ぶりに1万人を超えた。開会式は曇り空のもとで行われた。チーム名アカデミー賞は、「座高1」が受賞した。

駅伝では、武若聡・助教(機能工学系)を中心とした教員チームが8連覇を果たした。2位の学生チームとのタイム差は年々縮まっていく。連覇が止まるのも時間の問題では」と永山誠スポーツ・デー局長(工芸3年)は語った。

吉井達郎スポーツ・デー学生委員会委員長(人間3年)は、「2日間晴れて仕事は忙しかったが、参加人数が多く嬉しかった。スポーツ・デーは参加しやすい競技が多いので、ぜひ参加してもらいたい」と述べた。

講義を通じてロシア語が好きになり、もっと勉強したいと思って集まる人が多い。

しかし、ロシア語履修者が少ないため、カリンカは慢性的な部員不足が問題だ。今年も部員不足が問題だ。今年も部員不足が問題だ。

今年も部員不足が問題だ。今年も部員不足が問題だ。

ロシア語研究会 カリンカ

34



毎週木曜日の午後7時、ロシア語の外国人教師タチヤーナ・イゴレヴナ・ポボーヴァさんの自宅が賑やかなになる。外国人教師宿泊施設201号室。ここでロシア語研究会カリンカの活動が行われている。

紅茶を飲みながら、その日何をするかを決める。「コーカサスの捕虜」や「ボリス・



愛称はロシア語で 細々でも続けたい

現在、会員は1年生3人、2年生5人の計8人。クセーニヤ・カラシニコヴァさん(人文短期留學生)など留学生も参加する。全員が第2外国語としてロシア語をとっている。

続けている。ポボーヴァ先生は「皆、半年でロシア語が随分と話せるようになった。私も日本のことを知ることが出来て嬉しい。カリンカに来て、どんどん会話して欲しい。」と話す。

今年も部員不足が問題だ。今年も部員不足が問題だ。

逮捕者2人に

本学傷害事件

本学附属病院医員、助川岩谷容疑者(26)が学園祭開催中の10月12日夜、東京都品川区の会社員(23)の首に麻酔薬入りの注射器を刺した事件で、つくば中央署は20日、共犯として芸術専門学群の女子学生(23)を傷害容疑で逮捕、21日に書類送検した。

調べによると、同容疑者は、会社員との間でトラブルがあり、懲らしめようと助川容疑者に相談した疑い。女子学生は、容疑を否認している。

また、水戸地検土浦支部は31日、助川容疑者を傷害罪で水戸地裁土浦支部に起訴した。

